別紙様式第1　様式2　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　個票 ③

（令和7年度予算分）　地域少子化対策重点推進交付金　実施計画書　（市町村分）　個票

自治体名	静岡県富士市
本事業の担当部局名	市民部市民活躍・男女共同参画課

事業メニュー	結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分	重点メニュー					
関連事業メニュー	3_2_3 育児休業取得と家事・育児分担の促進					
個別事業名	男性の家事・子育て支援講座				新規／継続（一般財源での実施も含む）	継続
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和3年度
総事業費（A）（円）	100,000	寄付金その他の収入予定額（B）（円）	0		差引額（A-B）（円）	100,000
対象経費支出予定額（円）※補助率を乗じる前の額	100,000					

費用内訳（円）	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	100, 000	0	0	0		100, 000
	対象経費支出予定額	100, 000	0	0	0		100, 000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					

自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 本市では、令和2年度から令和6年度までを計画期間とした「はぐくむFUJI少子化対策プラン」に位置付けた施策を、計画的に進行してきたが、依然として婚姻数・出生数は減少傾向にある。 こうした中、結婚や子育ての当事者となる若い世代をまんなかに据えた支援を一体的に展開するため、既存の計画等を一体的に整理し、令和7年3月に「富士市こども計画」を策定した。現在は同計画に基づき、「切れ目なくこどもの育ちと家庭を支え、安心して子どもを生み育てることができるまち」の実現に向けた取組を推進している。 ＜本個別事業の位置付け＞ 共働き世帯が増える中で、家庭における女性の家事・育児・介護負担は依然として高く、女性の社会進出の障害になっていると同時に、少子化にも繋がっている。 そのような社会状況の中で、本事業では男性の家事・育児スキルの向上及び男性の家事・育児参加を促進する講座を実施し、家庭における女性の家事・育児負担の軽減を図り、ひいては結婚・妊娠・出産・子育てを温かく支える社会づくりの土台の醸成を目指すものである。

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	男性の家事・子育て支援講座事業	父親・男性を対象とし、料理スキルを向上させる講座と、夫婦間でのコミュニケーション技術の学習など、家事・育児に関する講座を実施する。 （父親の参加を優先。母と子を含む家族での参加も可能とする。） 講座の中で、家事・育児に取り組む男性が抱える悩みや困りごとを共有・相談できる時間を設け、講師から適切なアドバイスを行う。 講座後はフォローアップを行い、参加者の意見を共有する。 ○男性の家事・子育て支援講座 ・開催回数：3回（料理講座2回、コミュニケーション講座1回）を想定 ・参加人数：各回20名程度を想定
	2		
	3		

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

・全3回の講座のうち、家事・育児等に関する講座について、料理講座と比較して集客に課題があるため、子どもに関係する事業の担当課においてもチラシを配布するよう依頼するなど、周知・広報チャンネルの拡大を図る。

	KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	子育てが楽しいと思える子育て当事者の割合	%	92.0 (R8年度)	89.6 (R6年度)
	今後も富士市で子育てをしたいと思う子育て当事者の割合	%	100.0 (R8年度)	95.5 (R6年度)

	項目	単位	直近の実績値(時点)
参考指標 ※全事業共通	合計特殊出生率		1.41 (H30～R4厚生労働省:R6公表値)
	婚姻件数	件	991 (R4静岡県人口動態統計:R6公表値)
	婚姻率		4.2 (R4静岡県人口動態統計:R6公表値)

	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	講座の回数	回	3 (R8年度)	3 (R6年度)
	②	講座への男性の参加者数	人	25 (R8年度)	20 (R6年度)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	70 (R6年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	―	―
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	―	―
	④	家事・育児時間が増えたと答えた男性の割合	%	100 (R8年度)	100 (R6年度)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				